

CTC Engineers Voyage #1

CTC金融エンジニアのAWS LTチャレンジ

技術コンプの控えめエンジニアが AWSアーキテクトになるまで

金融技術第2部

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group



前振りと自己紹介



AWSに携わるまで



いま何をしているか



今までとの違い



まとめ

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

今日お話しすること

- エンジニアとして日々の業務をこなしていくなかで“強み”をうまく築けなかった自分が約2年半で“AWSアーキテクト”になれた話
- なぜ“強み”となるスキルが身に付つけられなかったのか
- なぜ今はAWSを自身の“強み”と言える状態になれたのか
を自身の経験を交えてお話します

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

自己紹介

- 2014/04 IT系でキャリアスタート
業務系アプリ開発PJに従事：設計～テスト、PL、TL
- 2022/01 CTC入社
金融系のクラウド構築PJに従事：AWS



無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

AWSに携わるまで

- 2014/04～ 新入社員研修、実装、テスト：お決まりの新卒研修やSQLのライティング
- 2016/10～ 航空系の業務系アプリ開発：Java設計～テスト、タスク・スケジュール管理
- 2020/01～ 小規模案件のPM、TL：PM、TLとして複数の案件に従事
 - それなりの規模のSIerのプロパーだったので、取りまとめ役が次第に増えていく
 - 若手ながら役職者に抜擢、さらに取りまとめ役が主業務になっていく

→技術コンプレックスのエンジニアの爆誕



無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

AWSに携わるまで（少し深掘り）

- 前提

ウォーターフォールで1~2年かけて段階リリースするような大規模PJに参画
機能追加とともに、障害改修が常に併走している状態

大規模PJなので人はたくさんいるけど、とにかくみんな忙しい

- どうなったか

Javaでコーディング、テストする

→ 先輩エンジニアの足元にも及ばず

業務要件の整理、設計をする

→ 論理的な話なのでなんとなく通用する

ヒアリングや説明の機会が増える

→ PJ内で知り合いが増える

→ PJ固有の業務知識やコネクションを得る （まったくつぶしがきかない）

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

AWSに携わるまで（少し深掘り）

- 良かったところ
 - いろんな立場の人に説明するための資料作成能力、説明力
 - タスク管理、スケジュール管理能力
 - 社内外との調整力
- 良くなかったところ
 - プログラミング言語やFW等に適した設計や実装経験が積めなかった
 - ソースコードの読解力が身に付かずエラー解析などもできなかった

→別のPJを複数経験し技術力不足を痛感する ※立ち回りが良くてもモノは作れない※

→技術コンプレックスのエンジニアの爆誕（大事なことなので2回いいます）

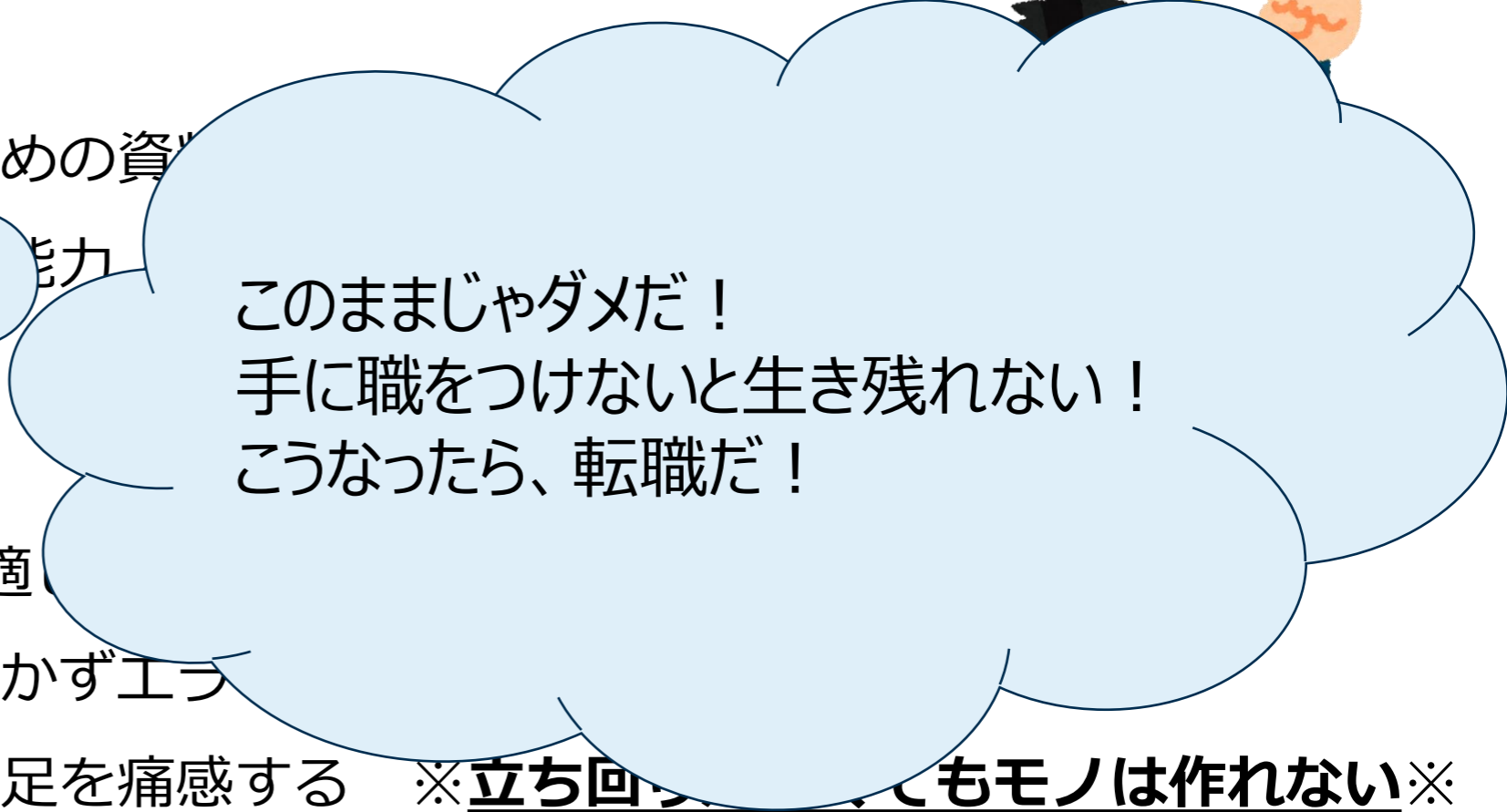


無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

AWSに携わるまで（少し深掘り）

- 良かったところ
 - いろいろなことに説明するための資料
 - タスクが明確で、自分の能力
 - 社内での評価
- 良かった理由
 - 自分に適した仕事に付かずエラー
 - 能力不足を痛感する ※立ち回してもモノは作れない※



このままじゃダメだ！
手に職をつけないと生き残れない！
こうなったら、転職だ！

→ 技術コンプレックスのエンジニアの爆誕 （大事なことなので2回いいます）

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

いま何をしているか

- 2022/01：CTCに入社し、決済代行システムのAWS案件に従事
- 2024/08：某銀行系（市場系）システムのAWSクラウドリフトアップ案件に従事
 - （あえてPMではなく）AWS構築担当としてPJに参画
 - インフラアーキテクチャ全般の要件定義から担当
 - エンドユーザ（銀行員）様が利用するWebシステムをAWSに構築
- PJ以外の活動
 - 社外イベントへ参加：AWS Summit Japan、Google Cloud Next Tokyo等
 - 研修：技術系、ヒューマン系の各種研修に参加
 - 資格勉強：AWS全冠を目指し勉強中

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

いま何をしているか

- 2024/08から某銀行系（市場系）のAI・クラウド系に専任に従事

（+）
インフラ歴が2年ちょっとなのに何億円PJのインフラ全般なんて担当できるの？

- エンドユーザーサポート

- PJ以外の活動

- 社外イベントへ参加：AWS Summit Japan、Google Cloud Next Tokyo等

インフラ歴が浅いのにPJ以外の活動なんて本当にやっているの？
PJ業務で手一杯じゃないの？



無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

どこから始めたか

- とにかく人に聞きまくる
 - アプリだろうがインフラだろうが関係ないスキル
 - PJ固有の要素でも、そうじゃなかったとしても、とにかく聞きまくる（今までと同じ）
 - 全員に気軽に質問ができた。情報が開示されていた（今までとの違い）
- とにかく調べる、ちよつとずつ解像度を上げる
 - 読んでも理解できないことも多々あるけど、何度も読み込んで少しずつ理解する
 - わからなくても少しずつ自分の中で納得させていって理解度を深める（今までと同じ）
 - PJのドキュメント以外にインターネットで情報収集できた（今までとの違い）

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

何が今までと違ったか

- 全員に気軽に質問ができた。情報が開示されていた（今までとの違い）
 - 心理的安全性が確保されており、相互に気軽に質問やディスカッションが可能だった
 - 失敗に対して非難されることはなく、新しいことに何度でもトライできる環境だった
 - ミスやトラブルの情報がチーム内でスピーディーに連携されていたため担当機能以外のナレッジの蓄積ができた
- PJのドキュメント以外にインターネットで情報収集できた（今までとの違い）
 - 業務要件や独自FWではなくAWSを軸としているためインターネットで情報が得られた
 - 検証環境で何度でも動作検証が可能だった

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

とまどいの日々

- 毎日みんなが何を言っているのかなぞ
 - ログがうまく書けてない。どうもAPIがExceptionをはく場合はあるようだ
 - いままで問題なかったけど昨夜はなぜか処理が遅延している。まずは統計情報を確認してみよう
 - 認証情報がうまくStoreから取れていない。権限は変えていないんだけどな
 - デployしたアプリにうまくトラフィックが流れていない。以前のテストのゴミが残っていたかも・・・etc..

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group



とまどいの日々

- 少しAWSに触って気が付いたこと
 - 教科書レベルの知識と業務レベル（パラメータレベル）の知識のギャップ
業務要件に沿った設計、設定の話になるととたんに置いてけぼり
例：暗号化通信はどこで終端できる？そうすべき理由は？など
 - AWSはクラウドプラットフォームであって、その上のレイヤで動く技術の知識が必要
EC2、ディレクトリサービス、コンテナ、Auroraという箱をどう利用するか
例：Windows、RHELなどのOS設計、AD、Auroraなどの設計など
- ある瞬間から突然なにかが理解できるようになることはない
 - 暗中模索の日々は転職前と変わらない（が、なぜ今はAWS案件担当ができているか？）

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

何が今までと違ったか

- 全員に気軽に質問ができた。情報が開示されていた（今までとの違い）
 - **心理的安全性**が確保されており、相互に**気軽に質問**やディスカッションが可能だった
 - 失敗に対して非難されることはなく、**新しいことに何度でもトライ**できる環境だった
 - ミスやトラブルの情報がチーム内でスピーディーに連携されていたため担当機能以外のナレッジの蓄積ができた
- PJのドキュメント以外にインターネットで情報収集できた（今までとの違い）
 - 業務要件や独自FWではなく**AWSを軸**としているため**インターネットで情報が得られた**
 - 検証環境で何度でも動作検証が可能だった

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

まとめ

- AWS案件の場合、業務システム固有の観点はあるけれども、AWSクラウドが中心にある
→PJが変わったときにも活かせる知識が多い
- 何度でもトライさせてくれる雰囲気が出来上がっていてトライできる検証環境もあった
→お絵描き、調査、検証を繰り返し実践することでAWSの勘所が身に付いた
- AWS Summitをはじめとしたイベントやセミナー参加に積極的で寛容な雰囲気だった
→社内で情報発信しやすく（アウトプットの練習）、モチベーションも維持できた
- エンジニアとしてもビジネスマンとしても先輩方がすごかった
→とにかく刺激になった

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

メッセージ

- エンジニアの“強み”を形作っていくには、1つの技術をこねくり回すのが近道
- 特に、クラウド（AWSなど）はインフラ基盤として応用がききやすくおすすめ
- アウトプットやトライエラーを繰り返し行うことが勘所や自信を培うのには重要
- 控えめな人は心理的安全性が確保されているチームでの活動がキーとなる
- チームビルディングについて学習して実践しているチームで活動することが成長に大きく影響する

みなさまのエンジニアライフが（クラウド活用によって）より良いものになると幸いです

無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

無限の未来と、
幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group

